

# 留学報告書 2

安斉 周

こんにちは。安斉周といます。UCLA で Computer Science の PhD 学生をやっています。Operating System (OS) まわりの研究をしています。

## 1 研究

前回の報告書で書いた System for Machine Learning のプロジェクトは後少しで投稿できそうです。本来ならここから新しくテーマを切り出して自分の PhD の方向性を定めようと教員と話していたのですが、今回のプロジェクトを通じてやっぱり自分は純粋なシステムの研究のほうが好きだと感じたので、PhD のテーマはよりシステムっぽい方向性で行こうと決めました。今は、次のプロジェクトに向けて教員や研究室のメンバーと話している最中です。

システムと機械学習 (ML) の境界の研究はより直接的に社会にインパクトを与えられるという点で興味深いのですが、勉強してはみたものの自分は ML にはさほど興味を持たず、コーディングにも集中できないような時間が続いてしまい、その焦りからさらに集中力が削がれるというような負のスパイラルに陥ってしまいました。ここ半年くらいは思うように自分の力が発揮できていないように感じて結構苦しかったです。次回の報告書ではより具体的な研究の話ができるよう頑張ります。

## 2 授業

授業に真面目に取り組むと、結構な時間を取られることに気づきました。授業に時間を取られて思うように研究に時間を回せなくなるという状態が続いていたのですが、3 クォーターを経てやっとどのくらい手を抜いても大丈夫かという感覚が分かってきました。次のクォーターからはもっと効率的にやっていけたらと思います。冬・春のクォーターでは、前回の報告書で書いた必修のオムニバス形式の授業に加えてそれぞれ CS251B (Parallel Computer Architecture)、CS259 (Current Topics in Computer Science: System Design/Architecture) という授業を取りました。前者はアーキテクチャの並列実行に焦点を当てた授業で、後者は教員によって大きく内容が変わるのですが、今回は GPU アーキテクチャについての授業でした。

## 3 生活

渡米して早くも 1 年ほど経とうとしていて、アメリカの好きなところ嫌なところがなんとなく分かってきました。好きなところは、簡単に買ったものを返品できるところと、ドクター

ペッパーがどこにでも売っているところです。また、アメリカの料理はとても美味しいです。そこそこ安く食べられる店として近所にハンバーガーチェーンやなんちゃって中華料理がありますが、渡米した直後に食べたときはそこまで美味しいと思わなかったのに、最近食べるとすごい美味しく感じます。最近何を食べても美味しいと感じるようになってきたのでうれしいです。嫌なところはそれ以外です。

#### 4 おわりに

早く結果を出さなければならないという焦りから、ここ最近はあるようにいかない時間が続いてしまいました。楽しく研究をやっていた時の感覚を思い出して、いい意味でもっとマイペースに自分のやりたいことをやっていけたらと思います。

船井情報科学振興財団様、ご支援ありがとうございます。